

## 主な補助金と公募スケジュール

補助金を活用し設備投資をする際は設備投資のタイミングと補助金の公募スケジュールが合致していることが非常に重要です。



※公募については、11月～12月頃に予算編成される令和6年度補正予算にて判明する見込みです。

## 中小企業省力化投資補助金(省力化補助金)の対象製品が拡大しています

公募開始当初は、清掃ロボット・配膳ロボット・券売機のみが対象製品でしたが、段ボール製箱機・蛍光X線膜厚測定器・鋳物用自動バリ取り装置など、対象製品が拡大しています。対象製品の詳細は「製品カタログ」に掲載されています。

中小企業省力化投資補助金 製品カタログ [https://shoryokuka.smri.go.jp/product\\_catalog/](https://shoryokuka.smri.go.jp/product_catalog/)

## 現在サポート中の自治体補助金

### 東京都

新たな事業環境に即応した  
経営展開サポート事業



### 徳島県

賃上げ応援!  
生産性向上投資促進事業費補助金



設備投資計画に合わせた補助金活用について個別相談会を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

## マイナ保険証を基本とする仕組みへ

健康保険証とマイナンバーカードの一体化、マイナ保険証について聞いたことはありますか？

あるいは、実際に会社としてどのような対応が必要なのか分からず悩んでいませんか？

ここでは、マイナ保険証の概要と会社がマイナ保険証への対応を行う際のポイントをご紹介します。

### マイナ保険証とは？

マイナ保険証とは、「マイナンバーカードの健康保険利用」のことを指し、利用登録することで、マイナンバーカードを医療機関・薬局で健康保険証として利用することができます。2024年12月2日より健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを保険証として利用することを基本とした仕組みに移行されます。

### マイナ保険証を作成するメリット

- 薬の情報が医師や薬剤師と共有でき、データに基づくより良い医療が受けられる
- 確定申告時の医療費控除申請が簡単にできる など

### 2024年12月2日以降入社された従業員様のお手続きについて

- 入社の際などに提出する「資格取得届」や、扶養となるご家族が追加される際に提出する「被扶養者異動届」に変更はございません。(※今後、保険証は発行されず、代わりに「資格情報のお知らせ」が交付されます。)

### 現行保険証の経過措置について

現在お持ちの健康保険証や2024年12月1日までに発行された健康保険証については、経過措置として2025年12月1日までは使用することができます。まだマイナンバーカードを持っていない、又はマイナ保険証の利用登録をしていない方は、健康保険事業の運営主体である保険者から交付される「資格確認書」を提示することで、これまで通りの保険診療を受けることができます。(※有効期限あり)

会社としては、従業員様へ健康保険証の廃止やマイナ保険証の利用について周知し、マイナンバーカードの作成やマイナポータルへの登録、マイナポータルで健康保険証の利用登録を勧めましょう。

今回は弊社で行っている研修について少しご紹介させていただきます。

社員教育や規模の拡大に向けた体制強化等、教育で悩まれる事業者様はたくさんいらっしゃるかと思います。決まった形ではなく、各企業様の目的に合わせた研修をご提案させていただきますのでお気軽にご相談ください。

コンさる君



## ＼フラッグシップ経営の研修特徴：フラッグシップ経営はここにこだわる！／

### ① 企業毎に個別の研修設計により研修効果を高める

弊社の研修では内容は決まっておらず、事業者様毎にお悩みや研修に求めることをお伺いし、個別で設計を行います。既成の研修とは異なり、ご参加者様に伝えたいこと、学んでもらいたいことが効果的に伝わります。

### ② 一方的な講話ではなく参加型の研修により当事者意識が芽生える

当社の研修ではアイスブレイクやグループワークを行い、当事者意識を持っていただけの研修を心掛けています。お互いに実は知らなかったことや違った意見に触れ、どんどん研修が活発化していくのがいつも嬉しいです。

### ③ 難しい言葉は使わない。簡単な言葉で参加者に意図や思いを伝える

よくある研修のように専門用語は使いません。研修の目的は学びを得ていただくこと、持ち帰って実践してもらうことです。どれだけ専門的な用語や難しい講話を行おうとも当日限りで忘れる内容に価値はないというのが経営改善を生業とする当社のモットーです。



## 研修の内容をチラッとご紹介

前提として100社100様の研修となりますが以下のような点はよく研修でお伝えさせていただきます。

- ① 視座 なぜ、社長は言っていることが変わるのか。（本当に変わっているのか）
- ② 社風 社風は誰が作りだすのか。活発な組織はどのようにして生まれるのか。
- ③ 考える 考えて動く社員の育て方。

「社員から意見が変わると言われる」「組織が活性化しない」「考えて動く社員が少ない」「経営方針や会社が向かう方向に社員が賛同してくれない」「部署間の軋轢により生産性が低下している」これらのお悩みはどの企業様でもお持ちかと思えます。研修では良く上記3つの内容を盛り込ませていただきます。来期に向けて体制を強化したい。社員を教育したい。より良い会社を目指せる組織にしたい。そんなお悩みを抱えた事業者様は是非、ご相談ください。

### ① 視座

経営者の眼  
10,000m



部長の眼  
1,000m



リーダーの眼  
100m



現場の眼  
1.5m



視野

視座とは社長や管理職、社員など立場によって見えているものが異なるため、考え方に差が生まれるというものです。  
ただあくまで目的地（ゴール）は変わりません。



## 当社のサービス

経営顧問 経営改善 計画策定 新規融資  
条件変更 事業再生（債権カット）  
人事制度・研修 事業承継支援 補助金申請  
計画認定支援

## お問い合わせ



株式会社フラッグシップ経営  
FLAGSHIP MANAGEMENT

☎ 0120-34-8776

✉ info@flagship-keiei.co.jp

ホームページは  
こちらから



# コンさる君の 今日も視界良好

# 11月号

## 代表・総務・インターン編

### ⑤「15年を振り返って」代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

皆さん、こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。  
私事で恐縮なのですが2024年10月1日をもって独立してから15年が経ちました  
(私本人もそのことに気づいておらず、社員さんから教えてもらいました)。独立当初は個人事業主としてスタートし、2017年に現在の株式会社フラッグシップ経営へと改組しました。



代表取締役 長尾 康行

開業当初はよく働きました。週100時間以上は働いていたと思います。「働いて成功する」「家族を食べさせる」「事業を軌道に乗せる」と寝食を忘れて働いていました。不思議なことにその時は疲れを感じていませんでした。やりたい事がたくさんありましたし、やるべきことも明確でした。そして、それを誰の許可を得る必要もなくカタチにできるわけですから、楽しかったのだと思います。お金もなく、頼る人もいない、将来もどうなるか分からない環境でも「楽しかった」「充実していた」と感じる事ができたのは幸せでした。

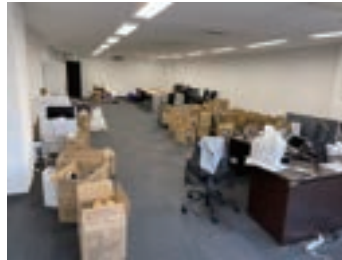
それから15年経過した今は体力的なものなのか精神的なものか分かりませんが、エネルギーが湧き出してくるという当時の感覚はなくなりました。15年もモチベーションを保ち続けることは誰にとっても簡単なことではありませんが、私は目標や夢を追いかけて燃え尽きる寸前まで頑張り続ける自分の姿が好きなので、今のように何となく丸くなった、トゲがなくなった感じの自分は好きになれません。もう一度、15年前のような野心的な自分を取り戻すために、いろいろな人に会い、たくさん本を読み、考える時間、自分に向き合う時間を設けたいと思います。何歳になっても輝いていたいと思いますから。



【独立当初のオフィス】



【本町に移転:15坪】



【心齋橋に移転:30坪】



【現在のオフィス:70坪】

### ⑥「二項対立は議論活性化のテクニック」マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

日々の生活の中で、私たちは無意識のうちに二項対立で考え、判断しています。朝、アラームが鳴った時から、「このアラームで起きる × スヌーズして次のアラームで起きる」と起きるか、もう少し寝るかを判断しています。

また、中には小学校の授業でもディベートが取り入れられるなど、教育の中でも二項対立でものごとを考えることを経験していきます。

これは、人は何かと何かを比較する中で、認識を深めたり、判断したりするものです。「1本500円の水」が高いかどうかを判断できるのは、コンビニなどでは100円で売っていることを知っているから、それと自然と比較することで認識しています。

この二項対立をディスカッションに活用することで、議論を活性化することができます。例として、「売上を増やす方法とその優先順位」をテーマに話し合った時、「新規顧客 × 既存顧客」、「新商品 × 既存商品」、「新規出店する × しない」、「値上げする × 値下げする」、「来店客に積極的に声掛けする × 声かけしない」、「広告費がかかる方法 × 無料でできる方法」など対立する項目があれば、そこから思考を深められます。

もちろん、売上を増やすためには新規顧客も既存顧客も大切ですので、両方に対する取り組みは必要です。どちらかだけを採用すれば良いというものではなく、あくまで議論を活性化するための二項対立と捉えてください。

また、二項対立で全てを白黒つけることは難しいこともあります。二項対立は便利な考え方ですが、使い方を間違えるとお互いに良くない結果になることがあります。1つの視点からみれば正しいことでも別視点だと間違っていることがほとんどだからです。例えば、「マスクをつける × マスクをつけない」は、感染予防の効果度合いや周りとの同調性・協調性、熱中症リスクなど重視する視点によって、正しいことが異なります。

二項対立の考え方を上手く活用するためには、それぞれの視点が絶対的なものではなく、あくまで前提条件の違いを相互に理解したうえで議論すれば発展的なものにできます。



## ⑤「抽選に当選しました」 経理・総務 松野あやか

大学生の頃からスニーカーが好きで、携帯のNIKEアプリを使い、最新の人気シューズの情報を集めています。ここ数年で、スニーカー売買アプリの登場や各スポーツブランドのスニーカーとハイブランドとのコラボレーションアイテムも増えております。

先日、狙っていた人気シューズの抽選が9時から始まり、今回も当選しないだろうと諦めながらも抽選に応募しました。15分後メールにて「GOTEM（スニーカーを手に入れた）」の表示があり、なんと当選しました！

今回当選したスニーカーは、販売価格よりも高額で取引される、いわゆる「プレ値」が付くスニーカーでした。今回ゲットしたNIKEのロゴマークを反転させたデザインのスニーカーは、大きな注目を集めており、新作が出るたびに争奪戦が繰り広げられております。このスニーカーは定価2万円台ですが、人気なシリーズだと20倍程で転売されていることもございます。私は、「素敵な靴は、素敵な場所へと連れて行ってくれる」と信じており、週末の天気の良い日にこのスニーカーをおろそうと思います。



## ⑥「内定式」インターン生 宮川 尚也

今、私がこの記事を書かせていただいている時期が10月後半なのですが、まだ暑い？と言い続けていた毎日が突然に終わり、急に寒い！と文句を言うようになったところです。

自分のクローゼットを見てみると、半袖Tシャツと分厚いパーカー、分厚いトレーナーばかり。去年の自分に何やってんだよ、ちょうどいい長袖の服とか買ってよ！と腹を立てるのも、今年で何回目になるでしょうか。

そして多分今年もいわゆる秋服みたいなものを買わない。来年の自分よ、申し訳ない。

私は現在大学4年生なのですが、来年から金融機関で勤務する予定です。

インターンシップ生として勤務させていただいている経験を存分に発揮して、立派なバンカーになろうと思います。

10月1日に、その金融機関の内定式に参加してきました。会場は東京。大阪からの新幹線を降りた後は、人生初の山手線。

山手線の電車には両サイドの窓の上に3つもモニターが並んでいて映像が流れているのだと初めて知りました。

いざ内定式、開場時間は12時だ。しかし、開場時間の20分前に会場の近くまで来てしまったので、会場近くを練り歩くことに。しかし、なんとも不思議な感覚で少し居心地が悪い。理由というのも、明らかに自分と同じ内定式の参加者であるスーツ姿の青年たちが至る所にいるのです。コンビニの前、踏切の前、会場近くの公園のベンチ。声をかける勇氣もないし、だからと言って見て見ぬふりをするのも変な感じがする。しかし、もし勇氣を出して声をかけて、万が一にも参加者じゃなかったときには目も当てられない。色々な葛藤以外に何もせぬまま、ようやく開場時間を迎えました。

内定式は、内定状をいただき、グループワークをして、立食という流れでした。自分の振る舞いは、積極的に話しかけて、グループワークの成績もよく、まあ素晴らしいと自画自賛したものでした。しかし、最後の最後に机にお茶をこぼしてしまっ最悪。そそくさと拭きました。油断せずに働くのだぞというメッセージを受け取りました。

気を抜かずに頑張ろうと心に決めた内定式でした。

## ⑦「経験していない時代が懐かしく感じる感情の不思議」インターン生 平手 陸翔

最近、平成ドラマが自分の中の一大ブームです。きっかけは動画配信サービスで「踊る大捜査線」が一挙配信されていたことでした。すべて見終わってからは、「東京ラブストーリー」を見始めました。どちらのドラマにも今の世の中にはない暖かさを感じて、夢中になっています。

ドラマを見ている中で今では全くなくなった文化を発見しました。それは「待ち合わせの失敗」です。今は一人一台スマホを持っていることが常識のようになっており、何か事情あるときは即座に連絡することができます。それが当時は電話をかけるとなると家の電話か公衆電話、ポケベルを持っていれば決まった文章を送ることができるかどうか。ドラマでは「行けなくなった」という置き手紙をしたつもりが見つけてもらえず、来ない待ち合わせを待ち続けるという描写がありました。

会えない待ち合わせは今では考えられないですが、私は見えて当然会える待ち合わせよりもどこかワクワクするよう感じました。会えない可能性がある分会えたことに対する嬉しさが上乗せされるように感じるからです。

便利によって失われた些細な喜びは計り知れません。もちろん便利になったから生まれた喜びもたくさんあるので、一概に否定することはできませんが、私には経験していない1990年代が懐かしくてなりません。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関  
大阪 本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX高麗橋ビル5階  
和歌山支社：〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518 中之島801ビル 12階  
TEL：0120-34-8776 FAX：06-7635-8214  
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp URL：www.flagship-keiei.co.jp



### ⑤ 「だんじり祭り」 コンサルタント 日野 慎太郎 (中小企業診断士)



私が住んでいる地域では、毎年10月に「だんじり祭り」が盛大に行われます。3つの地区からそれぞれのだんじりが集まり、力強く街を駆け抜ける様子は圧巻です。掛け声が響き渡り、観客とだんじりが一体となるその瞬間、地域全体がひとつにまとまる感覚を強く感じます。今年は家族と一緒に参加し、特に子供たちが普段の生活とは違う体験に大いに感動していたのが印象的でした。地域の伝統文化に触れることで子供たちも心に残る貴重な経験ができたようです。私自身も、地域のつながりを改めて感じ、この素晴らしい祭りに今後も積極的に参加していきたいと思っています。しかし、この祭りを支えているのは地域の自治会です。その運営を担うメンバーは高齢化が進んでおり、70歳以上の方がほとんどで、運営が固定化している状況です。地域には若い世代も比較的多く住んでおり、だんじり祭りやその他のイベントにも多くの子供連れ家族が参加しています。しかし、共働き家庭が多く、日常的に自治会活動に関わるのが難しいのが現実です。このような問題は全国でも見られ、運営が困難になり、やむを得ずイベントを中止する自治体も多いようです。私も、自治会運営について、今、何かできることはないかと考えていますが、なかなか具体的な案が浮かびません。それでも、まずはできることから始めようと思い、地域のイベントにはできるだけ積極的に参加し、地域の一員としての役割を果たしていきたいと考えています。



### ⑥ 「母校へふるさと納税をしました」 ビジネスアナリスト 伊藤 侑加



私が卒業した高校では、毎年1回、自宅に会報誌が郵送されます。特段、母校に思い入れがあるわけではありませんが、会報誌では、同じ学校の先輩や同級生などが様々なフィールドで活躍している姿を知ることができるため、いつも楽しく拝読しています。しかし、今年の会報誌では、「卒業生校長の厚かましいお願い」として、母校のあらゆる設備が老朽化している現状から、今年4月から創設された大阪府の「母校応援ふるさと納税制度」による寄付のお願いが掲載されていました。壊れて使えない物品も多々あるなど、文章の状況から、相当老朽化している状態であることが想像でき、僅かですが、母校応援ふるさと納税制度で寄附をしました。



本来であれば、直接寄付するのが良いと思いますが、母校との繋がりが殆どなく、特段、母校への思い入れもない…という私には、何となくハードルが高く、所得控除も行える「母校応援ふるさと納税制度」の活用が、ちょうど良い仕組みとなってくれました。機会があれば母校にも訪れたいと思っています。

補足情報ですが、ふるさと納税をする際には、GビズIDを利用しました。今年は、神奈川県補助金申請時でもGビズIDの利用が開始され、自治体によるGビズID利用が拡大されているようです。

### ⑦ 「自分事として考える」 ビジネスアナリスト 谷 七音 (中小企業診断士)



入社して半年以上が経ち、日々多くの学びを得ていますが、その中でも特に心に残っているのが、代表の長尾から教わった「自分事として考える」姿勢の大切さです。数字や事業計画を扱う際に、ただの作業として進めるのではなく、自分自身の事業であるかのように感情移入して考えることが大切だということです。はじめは「そうか、そういうものなのか」となんとなく受け止めていましたが、実際に日々の業務に追われると、機械的な作業になってしまうこともありました。

しかし、先日、資金繰りに苦しんでいる事業者様を訪問した際、最新の試算表を確認し、手持ちのキャッシュがほとんどない状況を目の当たりにしたとき、「なんとかしなければ」と本気で感情移入している自分に気がついたのです。そんな私を見てか、以前は数字に無頓着だった事業者様も、打ち合わせを通じて前向きに改善に取り組む姿勢を見せてくださるようになりました。今後は、この姿勢を絶対に忘れずに、事業者様に向かい合っていきたいと思っています。

### ⑧ 「秋」 ビジネスアナリスト 社内愛里



10月中旬ごろから、朝の電車では弱めではありますが暖房がかかるようになりました。

寒がりの私としてはぬくぬくで有難いのですが、車中での睡魔との闘いは一段と厳しくなりそうです。

アメリカ国立科学財団の研究によると、人は一日に1.2万～6万回の思考をするそうです。思考は、例えば、朝の目覚まし鳴って今起きようか、5分二度寝してから起きようかと考えることに始まります。そのような些細なことから、お仕事の重要な内容まで、人は常に大量の情報を仕入れて、頭をフル回転させ続けています。

私は何かと気にするタイプなので、一日の終わりには頭が煮詰まっているように感じます。なので、私は帰り道に少し工夫をしてリフレッシュするにしています。それは感覚を意識することです。最寄り駅から自宅まで歩いて帰る道中では、何も考えずにゆっくり歩いて帰ります。脳からの命令はただ右足と左足を一歩ずつ動かすことだけにして、季節による景色の変化を感じるようにしています。こんな時に秋はぴったりです。日が落ちるのが早いので程よく暗く、寒すぎないちょうどよい気温、冷たい風のおかげで、疲れた頭が冷えていく感覚がします。

## ⑤ 「ラストマイル」 営業事務 吉川 鈴夏

映画鑑賞が私の趣味の一つです。一人映画にもよく行くのですが、最近「ラストマイル」という作品を見ました。大手ショッピングサイトの荷物に次々と爆発物が仕掛けられる謎の連続爆破事件が発生。巨大物流倉庫のセンター長とマネージャーを中心に事態を収束させようと試みる。というあらすじです。

この作品は、過去に放送していたドラマ「アンナチュラル」「MIU404」と同じ世界線で話が進むということで話題になっており、どちらのドラマも見ていた私としては、ドラマのキャスト陣が出演するの楽しみ！という安易な気持ちで映画を見に行きましたが、内容はただのサスペンス作品ではなく、物流業界の現実と社会問題を鋭く描かれており、見終わった後に考えさせられるものが多かったです。

少しネタバレになってしまうかもしれませんが、物流倉庫や下請けの配送会社で働いている方たちの過酷な労働環境や、効率化という名の下に犠牲にされる労働者たちの苦悩、経営陣と現場で働く従業員の間に挟まれるセンター長が失敗は許されないというプレッシャーに押しつぶされそうになる様子がリアルに描かれており、現実でもあり得る問題であるなと思いました。現在は欲しい商品があればネットで安く、送料無料、早ければ翌日には届くことが当たり前になっています。自分の手元に商品が届くまでに、たくさんの方が携わっていることを考えさせられ、改めてこの当たり前に感謝しないといけないと感じた作品でした。



## ⑥ 「期間限定」 営業事務 造田 朋夏

長く続いた夏の暑さも和らぎ、ようやく秋らしい涼しい季節となってまいりました。日没が早くなり通勤時に外に出る頃には空が薄暗くなっていることや、これから冬に向けてどんどんと寒くなることを想像すると、冬が苦手な私にとっては今の季節は少し寂しく感じる日もありますが、ここ数年の秋の楽しみは期間限定の食を楽しむことです。通年で期間限定のものには惹かれがちなのですが、特に秋のおいもスイーツには目がありません。コンビニやスーパーに行くとたくさんの期間限定商品が並んでおり気付けば商品がカゴに入っていることも多々あります。

また、日頃から SNS で見つけた料理のレシピを保存しておき、仕事から帰宅後に秋の食材を使った料理を作ることによって平日の自炊もいつもより楽しく感じるようになってきているような気がします。限られた短い時間の中でもう少し秋を満喫するために、みなさまのおすすめのおいもスイーツや変わった秋の楽しみ方があればぜひ教えてください。



## ⑦ 「目標」 営業事務 市位 桃花

大学時代、アルバイト先が一緒ということがきっかけで仲良くなった一つ上の先輩がいます。その先輩は山崎賢人の大ファンでいつも山崎賢人に会いたい！と口にしていました。それを聞いていた周りの人たちは応援してはいましたが、大物過ぎて現実味がないと感じていたのが正直なところでした。

彼女は大学卒業後、山崎賢人に会うことを目標に東京のテレビCMなどを手掛ける企業に就職しました。入社直後から名の知れた芸能人の方々と仕事を共にし、時にはCMに出演することもありました。彼女によると1日で働かない時間が3時間しかないことが普通にあるそうです。ハードな業界に入ってから4年ほど経過したところに、目標の山崎賢人のCM制作を手掛けることになったのです！私は動画と共に知ることになったのですが、山崎賢人に何かを渡す先輩がしっかり映っていました！いつもよりも髪の毛がサラサラで口角が上がっている嬉しそうな先輩を見て私自身も嬉しい気持ちと誇らしい気持ちになりました。「生の山崎賢人はどうでしたか？」と聞くと、「生崎賢人は最高だね！」とのことでした(笑) 目標に向かって着実に進み、誰もが厳しいと思っていた目標を達成した姿を見て、私も頑張らなければ！という気持ちにさせられました。大きな目標を達成するための小さな目標設定や達成するという気持ちの固さが大切なんだと実感した出来事でした。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

大阪本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階

和歌山支店：〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518 中之島801ビル 12階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



# 今日も視界良好 和歌山オフィス編

## ⑤ 「事前期待と実績評価」コンサルタント 杉本 貴弘 (中小企業診断士)



8月号のニュースレターで、私の使っているスマホが購入してから6年以上経過しており、買換えのタイミングを計っているとご紹介しました。

最近バッテリーの減りが著しく早くなり、さすがに日常使用にも支障をきたしていると感じたため、iphone16が発売されたタイミングでもあり、思い切って機種変更を行いました。先代のスマホから6年以上経過したことによる技術革新はさぞ凄いものだろうと期待してみたものの、いざ使うにしても電話やLINE・メールによる連絡やスケジュールの確認、偶に動画を視聴する程度で最新技術の凄さは実感できず、何とも言えない消化不良な結果となりました。

顧客の満足度は、商品・サービスを購入する前の事前期待と購入後の実績評価を比較し、実績評価が高ければ素晴らしいと感じ、リピート化します。逆に事前期待が高く実績評価が低ければがっかりし、顧客は離れて行きます。今回、バッテリーが長持ちするという点では非常に満足のいく結果となりましたが、それだけでは費用対効果としては悪く、搭載されているであろう最新技術も思うように実感できず、トータルでは実績評価が事前期待を下回ってしまいました。私の場合は少し特殊なケースでしたが、顧客は購入する前に、商品やサービスによって受ける価値を心の中で期待します。商品やサービスを提供する側は、購入する人が何に期待しているのか、適切にアプローチしなければなりません。評価は使い続けて行くうちに変わることもあるので、また長い間使い続け、改めてiphone16について評価したいと思います。

## ⑥ 「議事録は会議の前にほぼ完成する」ビジネスアナリスト 橋本 大治



議事録は会議の前にほぼ完成すると聞いて「会議で話したことを記録するんだからそんな筈がないだろう」と思った方、会議の結論が議題から想像できない、驚くような着地をしたことはありますか。

ほとんどの議題は事前に話の方向性や着地が予想出来るため、ある程度の議事が予想出来るのです。

会議は大きく分けると「報告会議」と「議論会議」があり、報告会議では当然、共有事項について事前に議事が作成出来ます。議論会議の場合には事前に①議題の共有、②意見の募集、③意見の整理、④事前議事録の確認依頼をしておけば問題の検討や意思決定から会議が進められます。しかし、よくあるのが会議の時間になってから初めて議題共有があり、全員で検討を始めるという形です。この場合、議題を共有する時間や頭で検討する時間、意見を述べる時間がそれぞれ参加人数分だけタイムロスとなります。

個人的には学校の全校集会等で「全員が静かになるまで2分かかりました。これは他の人の時間を奪っている状態です。」という意見は「2分のあるなしでそんなに影響はないけどなあ」と思ってしまうタイプでしたが会議では簡単に30分や1時間が溶けていきます。

事前に議事録を作成するメリットは他にもあり、普段意見が出せない人からの意見が受けられる可能性があります。

発言が出来ない理由も様々ですが議論のスピードについていけない人は一定数いるのではないのでしょうか。もし、会議の場で全員にスピードを合わせて検討の時間や読み合わせの時間を設けている場合は前段のロスが大きい状態ではないかと思えます。語弊が無いように会議中に検討の時間があることは問題ではありません。あくまで事前準備が不足していることが問題であり、意見を出し合った結果、新たな議題が現れ検討が開始されることは会議の主たる目的かと思えますので素晴らしいことです。

この進め方では当然、事前に議事録を作成する時間は要しますが普通に会議をしても議事録は作成しますのでタイミングの違いだけではないかと個人的に思います。「会議が必要以上に長い」「会議の結論が曖昧になる」ということがあれば一度、議事録の事前作成を行ってみてはいかがでしょうか。

## ⑦ 和歌山 NEWS 「和歌山の企業と歴史 パート3」

橋本です！前回は和歌山で最も歴史のある企業様、(株)みそや呉服店様をご紹介させていただきました。今回はパート3として世界で初めて抹茶ソフトクリームを開発した皆様ぞ存じのあの企業様をご紹介いたします。

既にピンと来られている方もいらっしゃると思いますが世界で初めて抹茶ソフトクリームを開発したのは(株)玉林園様です。本社は私が現在住んでいる箇所から徒歩10分程の距離にあり、皆様お馴染みのグリーンコーナーにも先日行ってまいりました。

和歌山に引っ越しして来る前は「グリーンソフト」は見たことも聞いたこともありませんでした。しかし、和歌山ではどのコンビニに行ってもグリーンソフトが売っています。和歌山市のソウルフードとして知られる「天かけラーメン」も生み出しており、和歌山文化の一端を担っている企業様とご紹介しても過言ではないでしょう。

